

京阪グループのCSR

京阪グループは、当社の前身である京阪電気鉄道(株)が明治39年に創立して以来、社会から信頼される企業グループを目指して事業を展開してきました。長年にわたる事業展開の根幹に流れる思想は、平成10年7月に「経営理念」として明文化され、この「経営理念」を誠実に実践することこそが、京阪グループのCSR経営であると考えています。



京阪グループのCSRへの考え方

京阪グループは、当社の前身である京阪電気鉄道(株)が明治39年に創立して以来、地域に密着したさまざまな事業活動を通じて社会に貢献し、企業としての社会的責任を果たすことで、社会から信頼される企業グループとなることを目指してきました。

平成10年7月に制定した「経営理念」は、京阪グループとしての共通認識を持ち、経営理念に基づいて行動することが、社会からその存立が認められ信頼され続けるための根本思想であると考えています。

この「経営理念」を上位概念として、経営理念を日常の行動で実現するための基本方針として「行動憲章」を、経営の意思決定における価値前提となるものとして「経営姿勢」を、環境にやさしい企業を目指すための考え方として「環境理念」を定めています。

さらに、「行動憲章」、「経営姿勢」、「環境理念」のもとに、それぞれを具現化するための「行動指針」、「経営ビジョン」、「環境方針」を定めています。

京阪グループの社員一人ひとりが、グループを取り巻く人々の期待に応えながらCSR活動を推進していきます。

京阪グループの経営理念体系

